「ひとりぼっち」をつくらない地域づくり

令和6年度 事業計画

社会福祉法人 稲美町社会福祉協議会

令和6年度 稲美町社会福祉協議会 事業計画

1. 事業方針

今年度は社会福祉協議会がこれまで取り組んできた「地域支援」、「ボランティア支援」、「個別支援」をより一体的に展開できるように、それぞれの取り組みの拡充と共に、連携の仕組みづくりについて重点的に取り組んでいきます。

具体的には住民活動・関係団体の様々な活動に社会福祉協議会が関わっていく(アウトリーチ) ことと、関わった活動同士の横のつながりづくり(語り合いの場、連絡会議、協働活動の実施)の活動を推し進めていきます。また、その手法についても社会福祉協議会が主導するのではなく、それぞれの活動意志を背景に、緩やかに出会い、話し合える場づくりを大切に取り組んでまいります。

内部連携に関しては、従来の各ミーティングに加えデジタルデバイスを利活用し、 情報の一元化と共有を進め、住民ニーズの見える化を促進することでコーディネー トの件数や質を向上させていきます。

また、令和6年能登半島地震の教訓を活かし、昨年度町と締結した「稲美町災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定」の内容について協議を進め、 災害ボランティアセンター設置の訓練も実施していきます。

今後、人口を筆頭に様々なものが減少局面を迎えていきます。そのことも見越して、現在、稲美町や社協にあるものを再点検し、より効果的な活動が実施できるよう横の連携とそれを後押しする柔軟な事業展開を志してまいります。

2. 新規•拡充項目

- ①『地域カルテ・住民ニーズ局内電子共有』の新規実施
- ・従来、紙媒体と電子記録を中心に共有していた情報を、Web データベースを 用いることで、集約化と視覚化をはかり、地域情報や住民ニーズを職員間で効 果的に共有します。
- ②『この日だけ、すき間ボランティア講座』の新規実施
- ・従来、紹介が多かったグループ活動のコーディネートに加えて、すき間時間・ 少人数のボランティア活動に関する講座の実施を通じて啓発を行い、時間的に 気軽に取り組んで頂けるボランティア活動を提案していきます。

- ③『親子の心の悩みごと、ちょこっと相談』の新規実施
- 公認心理士の協力のもと、心のしんどさを抱える親子の悩みごとをお伺いする 相談会を実施します。

④『地域福祉推進計画評価委員会』の新規実施

• 第5次地域福祉推進計画(R5~R9)の初年度の取り組みを確認し、今年度 以降の社協運営に反映します。また、情勢を鑑みながら、地域福祉推進計画自 体も柔軟に見直しを実施してまいります。

⑤『カタリバ「稲美のおとなりさん」』の新規実施

参加対象、参加テーマを限定せず、焚き火を囲いながら様々な立場の住民が出会い、語り合う場づくりを行います。内容については参加される方々の主体性やアイデアを大切に運営していきます。

⑥『コミュニティカフェ連絡会議』の新規実施

・地域で喫茶や食堂、配食などを行っている団体の交流連絡会を実施し、相互の情報交換や協力につなげます。また、LINEなどを用いて食材提供のタイムリーな呼びかけと配分のルール化も行っていきます。

⑦『社協イベント部活動』の新規実施

・地域の様々な団体が実施しているイベントに社協として出店・協力をし、つながりづくりの促進と社協のPRを行います。また、出店商品の開発や出店を通じて社協内部の一体感の醸成も行います。

⑧『広報活動(SNS)』の拡充

・広報活動に必要なデジタルデバイスの効果的な活用方法についての研修会を 実施し、より多くの方にわかりやすく情報が届くように研究を行います。

⑨『在宅サービスセンター経営検討会議』の拡充

・昨年度、管理者のみで実施していた経営検討を役員(学識経験者)、役場も交 えて検討し、改善を図ります。

⑩『災害ボランティアセンター準備事業』の拡充

・災害ボランティアセンターの立ち上げについて、役場等と協議を進め、具体的な立ち上げの方法、手順などを検討していきます。また、その実地訓練をボランティア等にも参加してもらい開催します。

⑪『スマホサポーター養成講座』の拡充

昨年度開催した「シニアスマホ教室」の続編として、個別性のあるスマホの悩

みに対応すべく、サポーター養成を行い、あらたな「おたがいさん」活動として住民同士の助けあい活動につなげていきます。

- (12) 『生きづらさをかかえる成人をもつ親のつどい』の拡充
- •「親亡き後の備え」に関する一般公開講座(講師:ファイナンシャルプランナー)を実施することで学びを深めると共に、つどいのPRも行います。
- (13) 『基幹相談支援センター事業』の拡充
- 情報交換や仲間づくりが難しい医療的ケア児の家族がつながれる場づくりを 行います。

3. 事業一覧

法人	人運営事	業
	1	福祉会費依頼
	2	評議員会
	3	理事会
	4	監査
	5	評議員選任•解任委員会
	6	社会福祉法人連絡協議会(ほっとかへんネット稲美)
	7	法人運営業務
拡充	8	広報活動(SNS)
拡充	9	在宅サービスセンター経営検討会議
新規	10	地域カルテ・住民ニーズ局内電子共有
ボ	ランティ	アセンター活動事業
		, C1
	11	介護ボランティアポイント事業【町委託】
	11	
		介護ボランティアポイント事業【町委託】
	12	介護ボランティアポイント事業【町委託】 見守り配食事業
	12	介護ボランティアポイント事業【町委託】 見守り配食事業 地域生活支援事業「おたがいさん」
	12 13 14	介護ボランティアポイント事業【町委託】 見守り配食事業 地域生活支援事業「おたがいさん」 オープンかふぇ
	12 13 14 15	介護ボランティアポイント事業【町委託】 見守り配食事業 地域生活支援事業「おたがいさん」 オープンかふぇ 朗読・点字広報の発行
	12 13 14 15	介護ボランティアポイント事業【町委託】 見守り配食事業 地域生活支援事業「おたがいさん」 オープンかふぇ 朗読・点字広報の発行 学びのクラス(手話中級)
	12 13 14 15 16	介護ボランティアポイント事業【町委託】 見守り配食事業 地域生活支援事業「おたがいさん」 オープンかふぇ 朗読・点字広報の発行 学びのクラス(手話中級) 傾聴ボランティア・地域活動者養成講座
拡充	12 13 14 15 16 17	介護ボランティアポイント事業【町委託】 見守り配食事業 地域生活支援事業「おたがいさん」 オープンかふぇ 朗読・点字広報の発行 学びのクラス(手話中級) 傾聴ボランティア・地域活動者養成講座 ボランティア連絡会

新規	22	この日だけ、すき間ボランティア講座
地域福祉活動推進事業		
ſ	23	いきいきサロン事業【町委託】
	24	生活支援等体制整備事業【町委託】
	25	マイクロバス運行管理業務【町委託】
	26	外出支援サービス事業【町委託】
	27	寝具洗濯サービス【町委託】
	28	暮らしの法律相談(弁護士相談)(司法書士相談)
	29	総合相談アドバイザー設置事業
	30	介護者の会「さくら草の会」
	31	認知症を学ぶ会「ほっとファミリー」
拡充	32	生きづらさをかかえる成人をもつ親のつどい
	33	自治会長・福祉委員合同研修会
	34	福祉講演会
	35	福祉委員活動
	36	外出困難者出入金代行事業
	37	福祉なんでも相談
	38	障がいのある方との交流を考える検討会
新規	39	親子の心の悩みごと、ちょこっと相談
新規	40	地域福祉推進計画評価委員会
新規	41	カタリバ「稲美のおとなりさん」
新規	42	コミュニティカフェ連絡会議
新規	43	社協イベント部活動
共同募金配分金事業		· 2分金事業
	44	共同募金依頼
	45	夏休みボランティアスクール【共同募金】
	46	視覚障がい者交流会【共同募金】
	47	耳の日のつどい【共同募金】
	48	手話体験講座【共同募金】
	49	お買物ツアー【共同募金】
	50	社協だよりの発行【共同募金】
	51	ひとり親家庭小学校入学祝【共同募金】
Ī	52	福祉教育指定校事業【共同募金】
Ī	53	障がい者団体への助成【共同募金】
L		†
	54	子育て支援団体への助成【共同募金】

	56	住民活動団体への助成【共同募金】	
	57	自治会福祉ネットワーク助成事業【共同募金】	
	58	福祉懇談会【共同募金】	
	59	人権福祉フェスティバル協賛【共同募金】	
	60	印刷機貸出事業【共同募金】	
	61 つどい場はじめの学校【共同募金】		
	62	歳末たすけあい募金依頼	
	63	特別支援学校修学旅行助成【歳末たすけあい募金】	
	64	緊急生活支援事業(食料、生活用品)【歳末たすけあい募金】	
	65	災害見舞金【歳末たすけあい募金】	
	66	歳末配分【歳末たすけあい募金】	
	67	保育園地域交流助成【歳末たすけあい募金】	
生	活福祉資	登金貸付事業	
	68	生活福祉資金貸付事業【県社協受託】	
	69	ほっとかへんネットワーカー配置事業【県社協補助】	
	常生活自	自立支援事業	
	70	日常生活自立支援事業【県社協受託】	
基章	幹相談支	援センター事業	
拡充	71	稲美町障がい者基幹相談支援センター【町受託】	
善	意銀行運	営事業	
	72	善意銀行	
	73	福祉用具貸出事業	
	74	緊急生活支援事業(生活費)	
	75	災害見舞金	
	76	チャレンジ活動応援パッケージ	
	77 福祉事業基金		
ā+ī	画相談支	泛援事業	
	78	稲美町社会福祉協議会計画相談事業所	
障:	害福祉さ	ナービス事業	
	79	居宅介護・重度訪問介護・同行援護・移動支援(スマイル 173)	
	80	日中一時支援(ひだまり畑)	

訪問	訪問介護事業			
	81 訪問介護事業(スマイル 173)			
療證	療養通所介護事業			
	82	療養通所介護事業(ひだまり畑)		
小夫	小規模多機能型居宅介護事業			
	83 小規模多機能型居宅介護事業(ひなたんぼ小規模多機能ホーム)			
訪問	3看護事			
	84 訪問看護事業(いなみ訪問看護ステーション)			
居宅	居宅介護支援事業			
	85 居宅介護支援事業(こぶし)			
	86	介護相談		
	87	認知症相談窓口		

4. サービス区分(会計)ごとの取り組み

I 地域福祉拠点区分【事務局】

(1)法人運営事業

種類	事業名	取り組み内容
1 継続	福祉会費依頼	社会福祉協議会の運営、各種事業を支える福祉会費を依頼する。 依頼時期 5月 依頼額 1戸500円 目標額 4,100,000円
2 継続	評議員会	法人の運営に関する重要事項の議決を行う。 予定回数2回
3 継続	理事会	法人業務執行の決定を行う。 予定回数 5 回
4 継続	監査	法人の業務及び財産の状況のチェックを行う。 予定回数 2 回
5 継続	評議員選任 • 解任委員会	評議員の選任及び解任について審議、決定を行う。 随時開催
総続	社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット稲 美)	町内に事業所がある社会福祉法人で組織し、地域公益活動の推進に取り組む。 総会 1回 全体研修会 1回(福祉講演会と共催) 実務者会 予定回数 4回 はざま支援 予定回数 5回 福祉研修会講師派遣事業 予定回数 15回
7 継続	法人運営業務	法人の広報、財産管理、労務管理、事業方針の決定等を行う。 会長との協議 毎週水曜日 内部ミーティング 毎週木曜日 地域担当者ミーティング 2週ごと木曜日 事務局正規職員定例会議 第1火曜日 在宅サービスセンター管理者会議 第4月曜日

<u>8</u> 拡充	広報活動(SNS)	SNS を用いた福祉活動の情報発信を行う。 主な発信媒体 Instagram、Facebook、公式 LINE 今年度は職員のデジタルデバイス活用力向上のために 研修会を実施する。 予定回数3回 また、パンフレットの刷新を行い、手に取ってもらいや すい簡易版と研修時に使用する詳細版の2種類を発行 する。 予定発行部数 1,000部
9 拡充	在宅サービスセンター経 営検討会議	在宅サービスセンター事業の経営改善のための会議を 学識経験者、役場、管理者等で協議する。 予定回数5回
1 O 新規	地域カルテ・住民ニーズ 局内電子共有	Web データベースを用いて、地域情報や住民ニーズを 職員間で効果的に共有する。

(2) ボランティアセンター活動事業

種類	事 業 名	取 り 組 み 内 容
11 継続	がまた。日本のでは、 介護ボランティアポイン ト事業【町委託】	高齢者が行う介護保険施設等におけるボランティア活動を支援することで、高齢者の地域貢献や社会参加を促進し、自身の介護予防や地域の介護予防を行う。 予定回数 延べ 100 回
12	見守り配食事業	高齢独居世帯やハンディのある方を対象に民生委員児 童委員やボランティアが見守りを兼ねてお弁当をお届 けする。 予定利用者 延べ 750 人
13 継続	地域生活支援事業「おたがいさん」	高齢者が行う介護保険施設等におけるボランティア活動を支援することで、高齢者の地域貢献や社会参加を促進し、自身の介護予防や地域の介護予防を行う。今年度は新たにスマートフォン等の操作サポート活動のメニュー化を目指す。予定回数 延べ 100 回予定活動者 延べ 100 人

14 継続	オープンかふぇ	いろいろな人の居場所として誰でも参加できるカフェ を実施。 予定回数 12 回 予定参加者 延べ 72 人
15 継続	朗読・点字広報の発行	視覚に障がいのある方へ、ボランティアグループが作成した社協広報紙「社協だより」や町広報紙「広報いなみ」などを点訳、朗読録音して自宅へ送付。 予定回数 12回 予定利用者 延べ36人
16 継続	学びのクラス(手話中級)	耳の不自由な方の情報伝達を行うボランティアのスキルアップ教室を実施。 予定回数 7回 予定参加者 延べ70人
17 継続	傾聴ボランティア・地域 活動者養成講座	地域のたすけあい活動や傾聴について研修を行い、主に傾聴ボランティア活動、おたがいさん活動、介護ボランティア活動に協力頂くボランティアを養成する。 予定回数 3回 予定参加者 延べ30人
18 継続	ボランティア連絡会	ボランティア相互の交流をはかり、ボランティア活動 の充実と社会福祉の向上をめざす。
19 継続	ボランティアコーディネート	ボランティアに係る相談を伺い、活動に取り組みたい方とボランティアを求める方の橋渡し、ボランティア活動の普及啓発に取り組む。今年度はニーズとボランティアの見える化と集約化、情報発信をSNS、HP、キントーンと連動し、活動増につなげる。 予定相談件数 50件 予定活動者 延べ20人
20 拡充	災害ボランティアセン ター準備事業	役場と災害ボランティアセンターの協定内容について協議を進める(町総合防災訓練への参加含む)。また、開設訓練を実施し、関係団体との応援協定等の協議も進める。 役場との協議 予定回数3回

		町総合防災訓練 1回 開設訓練 予定回数1回(打合せ別途2回)
21 拡充	スマホサポーター養成講座	スマホの使用に困っている方の支援を行うサポーターを養成する(登録者はおたがいさん活動の中で活動)。 また、学生など若い方の巻き込みも検討する。 予定回数 1回
<u>22</u> 新規	この日だけ、すき間ボラ ンティア講座	すき間時間・少人数のボランティア活動に関する講座の実施を通じて啓発を行い、時間的に気軽に取り組んで頂けるボランティア活動を提案していく。 予定回数 1回

(3) 地域福祉活動推進事業

種類	事 業 名	取 り 組 み 内 容
23 継続	いきいきサロン事業【町委託】	おおむね65才以上の方を対象とし、介護予防(転倒・認知症予防)や閉じこもり防止、仲間づくり等を目的として自治会単位で実施。 今年度はテレビゲーム等の新たなメニュー検討を行う。 予定会場数 52ケ所 予定参加者 延べ8,000人
24 継続	生活支援等体制整備事業【町委託】	地域の福祉ニーズや資源の状況把握、不足するサービス・支援の創出、ボランティア等担い手の発掘・養成、地域住民に対する活動の普及啓発などを実施し、住民の生活支援の基盤整備を推進する。また、情報の共有や連携の強化、課題解決のための取組の検討などを目的として設置された話し合いの場として「稲美つながり・支えあい協議会」を実施。 生活支援コーディネーター1名(兼務)設置。協議会 予定回数2回
25 継続	マイクロバス運行管理業 務 【町委託】	町所有のマイクロバスの各種団体への貸出管理を行う。 運行 予定回数 70 回
26 継続	外出支援サービス事業 【町委託】	町主催のいきいきサロンに通う方で、外出支援が必要な方に向けて、ボランティアが送迎を行う。

		予定利用者 延べ 12 人
 継続	寝具洗濯サービス【町委託】	住民税非課税世帯で、自身で布団の洗濯が難しい方へ洗濯サービスを実施。 予定回数 2回 予定利用者 延べ6人
28 継続	暮らしの法律相談 (弁護士相談) (司法書士相談)	法律の専門職が住民の法律相談に無料で応じる。 今年度7月から司法書士相談にも予約制を導入する。 弁護士相談 年間12回、予定利用者40人 司法書士相談 年間22回、予定利用者45人
29 継続	総合相談アドバイザー設 置事業	日常的に法律的相談を受けられるよう職員の資質向上 のため、総合相談アドバイザー(司法書士)を設置。 随時相談
30 継続	介護者の会「さくら草の 会」	介護をされている方のリフレッシュを目的に、情報交換、悩みの共有、勉強会などを行う。 予定回数 12回 予定参加者 延べ120人
3 1 継続	認知症を学ぶ会「ほっと ファミリー」	認知症介護をされている方のリフレッシュを目的に、情報交換、悩みの共有、勉強会などを行う。 予定回数 12回 予定参加者 延べ60人
32 拡充	生きづらさをかかえる成 人をもつ親のつどい	発達障がい等により社会になじめない成人をもつ親が 悩みや情報を共有できるつどいの運営支援。 今年度はファイナンシャルプランナーによる「親亡き後 の備え」について公開講座を実施する。 予定回数 12 回 予定参加者 延べ70人 公開講座 1 回
33 継続	自治会長•福祉委員合同 研修会	自治会長と福祉委員が合同で地域課題について考える 研修会の実施。 予定回数 1回
34	福祉講演会	広く住民の方に福祉について考えて頂く場として、講演

継続	【共同募金】	会を実施。ほっとかへんネット稲美と共催することで住民と専門職が共に学ぶ機会とする。 予定回数 1回 予定参加者 100人
35 継続	福祉委員活動	各自治会選出の福祉委員が地域と社会福祉協議会をつ なぐパイプ役として研修会などを通じて福祉について 学び、活動。 総会1回、交流研修会1回、情報提供随時
36 継続	外出困難者出入金代行事 業	外出の困難さから金融機関での出入金にお困りの方と 金融機関との調整を行い、必要に応じて代行での出入金 を行う。 予定利用者 延べ5人
37 継続	福祉なんでも相談	福祉に関わる様々な相談ごとをお伺いし、相談に応じた解決を関係機関や住民と一緒に行う相談窓口。窓口が開いている時間に常時対応。 予定相談者 延べ 1,000人
38 継続	障がいのある方との交流 を考える検討会	基幹相談、地域自立支援協議会等と協働し、障がいのある方や保護者等と一緒に、地域の方々との交流を通じた相互理解を進めるための場づくりを検討会する。
39	親子の心の悩みごと、 ちょこっと相談	公認心理士の協力を得て、心のしんどさを抱える親子の相談に応じる。 予定回数 11回
40 新規	地域福祉推進計画評価委員会	進行中の第 5 次地域福祉推進計画の進捗管理と、それを受けて今後の運営方針を協議する。 予定回数 1 回
4 1 新規	カタリバ「稲美のおとな りさん」	「焚き火」をツールに色々な立場の方が気軽に自由に語り合える場をつくる。 予定回数 4回
42	コミュニティカフェ連絡 会議	地域で喫茶や食堂、配食などを行っている団体の交流連絡会を実施し、相互の情報交換や協力につなげる。 また、食料支援の配分を効果的に行うためにSNSの活

		用を行う。 予定回数 2回
43 新規	社協イベント部活動	出店品の開発と地域イベントを通じて、住民活動との接点づくりや社協のPRを行う。 予定回数 5回

(4)共同募金配分金事業

種類	事業名	取 り 組 み 内 容
44 継続	共同募金依頼	下記の様々な事業を支える共同募金を依頼する。 依頼時期 9月 依頼額 1戸500円(目安) 目標額 5,232,000円
45 継続	夏休みボランティアスク ール 【共同募金】	夏休みに小学生〜一般の方を対象としたボランティア グループの活動体験を実施。 予定回数 5回 予定参加者 延べ20人
46 継続	視覚障がい者交流会 【共同募金】	住民の方が視覚障がいに関心・理解を持つこと、また、 当事者の社会参加支援を目的にレクリエーション、バス 旅行などの交流会を実施。 予定回数 3回 予定参加者 延べ10人
47 継続	耳の日のつどい 【共同募金】	住民の方が聴覚障がいに関心・理解を持つきっかけづく りとして講演会を実施。 予定回数 1回 予定参加者 延べ30人
48 継続	手話体験講座【共同募金】	手話を学ぶのが初めての方を対象とした連続講座を開催。 予定回数 5回 予定参加者 延べ50人
49 継続	お買物ツアー 【共同募金】	買い物が難しい方を対象に、ボランティアが同行し買い物支援のツアーを行います。 今年度は運転ボランティアに送迎と同行を依頼する。

		予定回数 2回
		予定参加者 延べ 10人
50	社協だよりの発行	対協や福祉活動、地域の情報などを掲載した広報紙を全
継続	【共同募金】	戸配布で発行。
小区がら	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
		タイトルのデザインを刷新し、記事もチラシを連動した
		デザイン構成とする。
		年 12 回発行、延べ予定発行部数 146,400 部
51	ひとり親家庭小学校入学	小学校新1年生がおられるひとり親家庭へ入学祝い金
継続	· · 祝	をお渡し。
WE 1190	''' 【共同募金】	予定対象者 12 人
E 2		子どもたちの福祉への理解と関心を高め、思いやりの心
52	福祉教育指定校事業	
継続	【共同募金】	を育んでいくために町内の保育園幼稚園(1 園)、小中
		学校(全校)に助成。
		小学校 5 校、中学校 2 校、幼稚園保育園(順番で)1
		園
53	障がい者団体への助成	障がいに対する住民の理解を促進するために地域交流
継続	【共同募金】	事業等へ助成。
#IE 1100	17 (1933 m2)	5団体
		の固体
54	 子育て支援団体への助成	 子育てひろばや不登校児の親の会などの活動支援・助
	「共同募金」	成。
継続	【兴心夯立】	
		7団体
55	ボランティアグループへ	ボランティア連絡会及び所属グループの活動支援のた
継続	の助成	めに助成。
	【共同募金】	19 団体
56	住民活動団体への助成	自治会長会等の住民による福祉活動に寄与する団体へ
継続	【共同募金】	の助成。
かにかりし		2 団体
		~ Falt.
57	自治会福祉ネットワーク	自治会での見守り、福祉活動をネットワークで進めるた
継続	助成事業	めの相談支援、助成支援を行う。
	【共同募金】	予定自治会数 3 自治会

58 継続	福祉懇談会 【共同募金】	自治会のニーズに合わせた研修会や、地域の福祉課題を一緒に考えるための懇談会を実施する。 ほっとかへんネット稲美の「福祉研修会講師派遣事業」も併せてPRを行う。 予定実施自治会数 15 自治会 予定参加者 延べ 150 人
8 継続	人権福祉フェスティバル 協賛 【共同募金】	町が実施する人権福祉フェスティバルへ協賛活動として記念品を贈呈。 年1回、贈呈個数 700個
60 継続	印刷機貸出事業 【共同募金】	自治会関係団体やボランティア関係団体、障がい者団体 等へ印刷機の貸出を行う。 予定利用回数 150 回
6 1 継続	つどい場はじめの学校 【共同募金】	住民のつどう場を作りたい方向けの学校(講座)を開校 し、新たな活動支援を行う。 予定回数 2回 予定参加者 50人
62 継続	歳末たすけあい募金依頼	下記の様々な事業を支える歳末たすけあい募金を依頼 する。 依頼時期 11月 依頼額 1戸150円(目安) 目標額 1,191,000円
63 継続	特別支援学校修学旅行助成 【歳末たすけあい募金】	特別支援学級、特別支援学校に在籍の修学旅行参加世帯 に助成。 予定対象者 20人
64 継続	緊急生活支援事業(食料、 生活用品) 【歳末たすけあい募金】	生活苦などで緊急的な食料や生活用品が必要な世帯に助成。 予定対象世帯 3世帯
65 継続	災害見舞金 【歳末たすけあい募金】	火災等で被災された方の生活を支援するため助成(善意銀行と合算で助成)。 予定対象世帯 1世帯
66 継続	歳末配分 【歳末たすけあい募金】	年末に民生委員児童委員に推薦頂いた、地域で支援を必要とされている世帯へ助成。

		予定対象世帯 90人
67	保育園地域交流助成	保育園児の情操教育として、地域との交流事業へ助成。
継続	【歳末たすけあい募金】	予定対象者 4 園 600 名

(5)生活福祉資金貸付事業

種類	事 業 名	取 り 組 み 内 容
68 継続	生活福祉資金貸付事業【県社協受託】	他制度の利用が困難な低所得者世帯や障がい者・高齢者 世帯の一時的な経済的ニーズに対応し、その在宅福祉及 び社会参加の促進を図ることを目的に金銭の貸し付け を行う(審査は県社協で実施)。 予定貸付世帯 5世帯、予定相談件数 延べ500件
69	ほっとかへんネットワーカー配置事業 【県社協補助】	生活困窮に陥っている方々の支援を軸に、関係機関等との支援ネットワークを密に構築して、総合的支援に取り組む。 今年度は食料支援の配分を効果的に行うためにSNSの活用を行う。 また、ひきこもり支援のための居場所づくりについて関係機関と協働して検討を行う。 予定支援回数 300回 食料支援回数 10回 生活困窮者支援機関連絡会議 予定回数6回

(6) 日常生活自立支援事業

種類	事 業 名	取 り 組 み 内 容					
70	日常生活自立支援事業	自宅やグループホーム、ケアハウスなどで生活する方で					
継続	【県社協受託】	判断能力に不安のある方の、日常の金銭管理・福祉サー					
		ビスの利用援助などを行う。					
		予定利用者 10人					
		予定支援回数 延べ 650 回					

(7) 基幹相談支援センター事業

種類	事 業 名	取 り 組 み 内 容
71	稲美町障がい者基幹相談	障がいのある方や家族が地域で安心して生活が送れる
拡充	支援センター	よう、社会福祉士などの専門の相談員が、相談支援や関
	【町受託】	係機関とのネットワーク構築などに取り組む。
		今年度は医療的ケアを必要とする児童の保護者がつな
		がれる場づくりを行う。
		予定相談者数 延べ 600 人
		予定対応件数 延べ 5,000 件

(8)善意銀行運営事業

種類	事業名	取り組み内容
72 継続	善意銀行	善意の寄付(金銭や物品)を町内の福祉活動に役立てる 善意の窓口。 予定寄付件数 150件
73 継続	福祉用具貸出事業	福祉サービスを利用できない方を優先に、車いす・歩行器などの介護機器を無料貸出。また、自治会や学校で福祉体験するための各種体験グッズを貸出。予定利用者延べ150人
74 継続	緊急生活支援事業(生活費)	生活苦などで緊急的な生活費が必要な世帯に助成。 予定利用世帯 10 世帯
[75] 継続	災害見舞金	火災等で被災された方の生活を支援するため助成(歳末 たすけあい募金と合算で助成)。 予定対象世帯 1世帯
76 新規	チャレンジ活動応援パッ ケージ	新たな活動を応援するために、「相談・広報・活動資金助成」をパッケージングして提供。 予定助成団体 3団体
<u>77</u> 継続	福祉事業基金	善意銀行へ寄せられた浄財を、将来に渡る助けあい活動を支える基金として管理。 基金残高 17,612,368円(2月28日現在)

Ⅱ 介護サービス拠点区分【事業所】

(1)計画相談支援事業

種類	事業名	取 り 組 み 内 容							
78	稲美町社会福祉協議会計	障がいのある方や家族からの生活に関する相談に応じ							
継続	画相談事業所	るとともに、障がい児者福祉サービスを申請する際に必							
		要となる「サービス等利用計画」を作成。							
		• 新規計画件数…6 件							
		・モニタリング件数…14件							
		• 利用者数…6 人							

(2) 障害福祉サービス事業

種類	事 業 名		取 り 組 み 内 容							
79	居宅介護•重度訪問介護•	介護	介護福祉士やヘルパーが在宅訪問し、障がいのある方の							
継続	同行援護•移動支援	身体介護や生活援助サービスを提供。利用者家族の身体								
	(スマイル173)	的・精神的負担の軽減も行う。								
		• 延べ利用者数…238 人								
		(居宅	介護 180	人、同行摄	護 25 人、	移動支援3	30 人、有料	3人)		
		• 実	利用人数	≀…28 /						
		(居宅	介護 18人	、、同行援記	蒦2人、移	多動支援 5 人	、有料3人	.)		
		•新	規契約者	ấ数⋯2 <i>,</i>	人					
		• 契	• 契約終了者数…2 人							
			2) IT// IIX	2/ F 1/2/10	SISTER	(介護有)	(介護無)			
		時間 950 830 30 60 50 1,92						1,920		
		回数	1,350	850	20	30	100	2,350		
80	日中一時支援	医療	依存度の	高い障が	がい児者	を対象に	、手厚い	 看護介護		
継続	(ひだまり畑)	体制	で一時預	りを行い	ハ、入浴	、排せつ、	、食事の	介助等の		
		-		!供。利用]者家族	の身体的	•精神的	負担の軽		
		減も	-							
		• 延べ利用者数…336 人								
			利用人数							
		• 新規契約者数…1 人								
		• 契	約終了者	ấ数⋯O ,	人					

(3)訪問介護事業

種類	事 業 名		取	り組み	· 内 容					
81	訪問介護事業	介護福	証土やヘル	パーが在宅訪	問し、介護な	が必要:	お高む			
継続	(スマイル173)	者の身体介護や生活援助サービスを提供。利用者家族の								
		身体的・精神的負担の軽減も行う。								
		• 延べ利用者数…372 人								
		(介護係	R険 180 人、総	合事業 190 人、	有料訪問2人)					
		• 実利	川用人数…41	1人						
		(介護係	呆険 20 人、総合	3事業 20 人、有 ³	料訪問1人)					
		• 新規	• 新規契約者数…15 人							
		• 契約終了者数…10 人								
		• 介護保険								
		身体介護 生活援助 身体生活 合 計								
		時間 520 640 500 1,660								
		回数	770	810	460		2,040			
		• 総合	3事業							
			身体介護	生活援助	身体生活	合	計			
		時間 10 500 360 870								
		回数 10 600 380 990								

(4)療養通所介護事業

種類	事 業 名	取 り 組 み 内 容								
82	療養通所介護事業	主に難病等の重度要介護者やがん末期の方へ、手厚い看								
継続	(ひだまり畑)	護介護体制で入浴、排せつ、食事の介助等のサービスを								
		提供。利用者家族の身体的・精神的負担の軽減も行う。								
		• 延べ利用者数…384 人								
		• 実利用人数…4 人								
		• 新規契約者数…1 人								
		• 契約終了者数…O 人								

(5) 小規模多機能型居宅介護事業

種類	事 業 名	取 り 組 み 内 容
83	小規模多機能型居宅介護	主に認知症の方を対象に、通いを中心に訪問や泊まりを

継続 事業 組み合わせ、在宅での生活の支援や、機能訓練を行う。 利用者家族の身体的・精神的負担の軽減も行う。 (ひなたんぼ小規模多機 能ホーム) • 延べ利用者数…6,370 人 (通い 4,320 人、訪問 1,800 人、泊まり 250 人) • 実利用人数…25 人 (要支援1…3人、要支援2…3人、要介護1…8人、要介護2…5人、 要介護3…2人、要介護4…2人、要介護5…2人) • 新規契約者数…5 人 •契約終了者数…〇人 • 運営推進会議…6 回実施 ・ボランティア受入…12回(散髪ボランティア) • 地域交流…幼稚園交流 2 回

(6) 訪問看護事業

種類	事 業 名	取 り 組 み 内 容									
84	訪問看護事業	看護師、理学療法士、作業療法士が在宅訪問し、主治医									
継続	(いなみ訪問看護ステ	の指示を受け、病気や障がいに応じた医療処置、自宅で									
	ーション)	の看取りも行う。利用者家族の身体的・精神的負担の軽									
		減も行う。									
		• 延べ利用者数…7,140 人									
		(介護保険 5,240 人、医療保険 1,900 人)									
		• 実利	• 実利用人数…108 人								
		(介護保	険 90	人、医療	保険 18 /	()					
		• 新規契約者数…50 人									
		(介護保険 38 人、医療保険 12 人)									
		• 契約終了者数…4O 人									
		(介護保険 30 人、医療保険 10 人)									
		• 介護保険									
				20分	30分	40分	60分	90分	合 計		
		看護師 回数 30 1,200 - 1,060 200 2,490									
		療法士 回数 0 - 590 500 - 1,090									
		• 介護予防									
				20分	30分	40分	60分	90分	合 計		
		看護師	回数	10	550	_	650	5	1,215		
		療法士	回数	0	_	450	_	_	450		

	• 医療保険			
		仁	計	
	看護師		1,500	
	療法士		400	
	• 主治医···	13人、町外60人)		

(7) 居宅介護支援事業

種類	事業名	取り組み内容										
85	居宅介護支援事業	ケアマネジャーが心身状況や置かれている環境、希望に										
継続	(こぶし)	応じて、適切な介護サービスを利用できるよう利用者と										
		相談しながら介護の計画書であるケアプランの作成や										
		見直し	見直しを行う。利用者家族の精神的負担の軽減も行う。									
		• 実和	• 実利用者数···160 人									
		• 新規契約者数…65 人										
		• 契約終了者数…25 人										
		・ケアプラン作成状況										
			要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計			
		件数	760	480	240	240	130	70	1,920			
		担当会議···180 □										
		• 医療連携…60 回(入院時情報提供)										
		・退院前カンファレンス…15 回										
		•要介護認定訪問調査…12回(町内0回、町外12回)										
86	介護相談	住民の介護に係る様々な相談ごとに対して看護師や介										
継続		護福祉士、ケアマネジャーが無料相談に応じる。										
		• 相談件数…85 件										
		(内訳は重複:ケアマネ依頼 70 件、介護相談 15 件)										
87	認知症相談窓口	住民の認知症に係る様々な相談ごとに対して看護師や										
継続		介護福祉士、ケアマネジャーが無料相談に応じる。										
		• 相談件数…25 件										